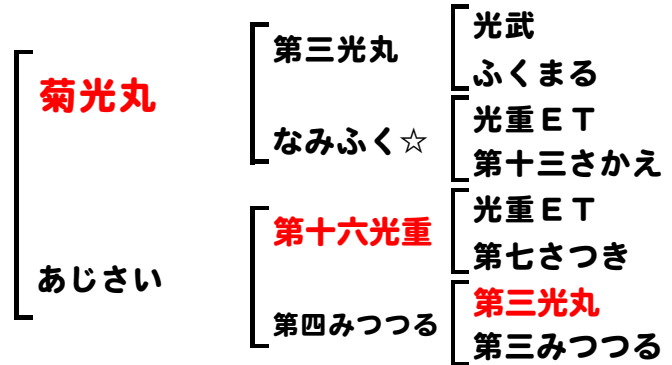


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2014

きくつるいーていーあい 褐毛和種種雄牛「菊鶴ETI」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている「肥後のあか牛」と呼ばれる和牛・褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑はもちろん、枝肉重量、ロース芯面積が極めて優れた質量兼備の種雄牛で、「菊光丸」の後継牛として期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3・4等級率)
去勢 8 頭	25.5	503.7	54.6	7.8	4.2	71.7	3.75	62.5% (5/8)
雌 7 頭	25.5	479.7	57.6	7.6	3.8	72.6	3.43	42.9% (3/7)

【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
1日当増体量	小さい							大きい	3.42
脂肪交雑	少ない							多い	2.60
ロース芯面積	小さい							大きい	4.18
枝肉重量	小さい							大きい	3.22
バラの厚さ	薄い							厚い	0.99

標準化育種価 (SBV) とは？

遺伝的な個体の特徴を明確にするため
育種価(遺伝的能力)を標準化した数値

畜産研究所 生産基礎技術研究室